



絶滅きぐ種メダカの学校は 大分川に存在するの？

～大分川の水質・生物調査 2021・夏～

6年 坂本 遼太

1. 研究した理由

4年生の時に絶滅きぐ種という言葉を知り、準絶滅きぐ種のハンショウの生物観察をしました。5年生の時に七瀬川の水質調査に参加し、七瀬川に様々な生き物が生息していることを知りました。理科でメダカの成長について学びました。そのメダカが環境省のレッドデータブックで「絶滅きぐ種Ⅲ類」に分類にされ、絶滅のおそれがあることを知りました。大分川がメダカが生息できる環境が守られているのか興味があ、ため言調査しました。



2. 研究方法

- 1) 大分川・メダカの特徴について調べ、メダカが生息しそうな川を予想する。
- 2) 現地に行き、川の水質(BTB溶液)や生き物を言調査、記録していく。

3. メダカについて

- すみか: メダカは、田んぼやまわりの用水路、小川、池や沼がすき。大きな川につながる浅いところにいることがある。今では、メダカのすきな水辺がへり、小川のコンクリート化、よごれた水、昔はいなかったアメリカザリガニなどの天敵が増えたことでメダカは絶滅のききにさらされている。
- 種類: ヒメダカ 里予生のメダカからくう然生まれた。黄色いメダカを飼育用に養って育てたもの。クロメダカ もともと里予生でいたメダカ。からだの大きさはヒメダカと同じくらいだが色は黒っぽい。北海道以外の日本全国にいるが、現在は数が減っている。

クロメダカ



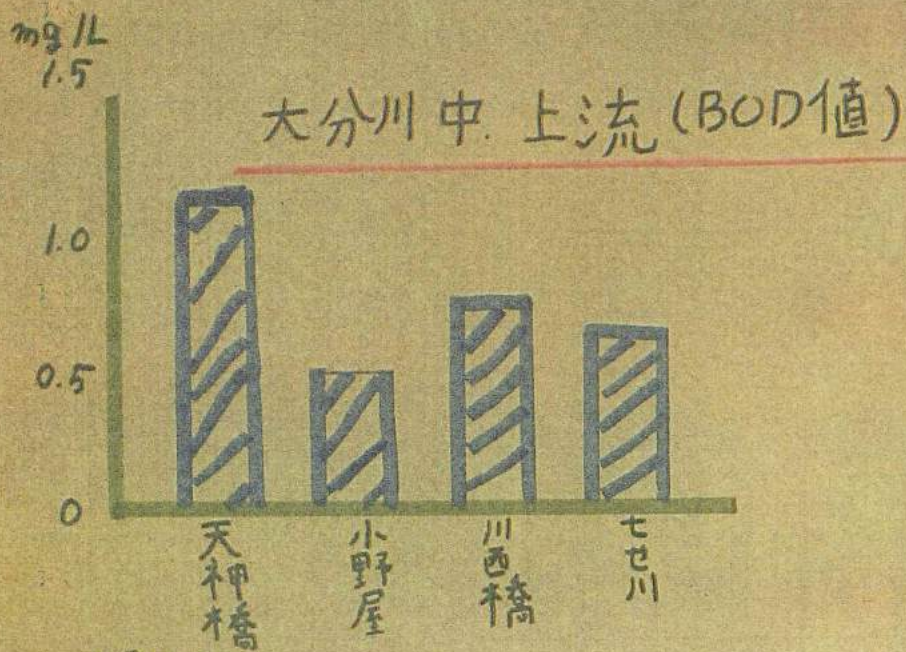
ヒメダカ



～育てるふれあうかい方園かんぽプラ社より～

4. 大分川について

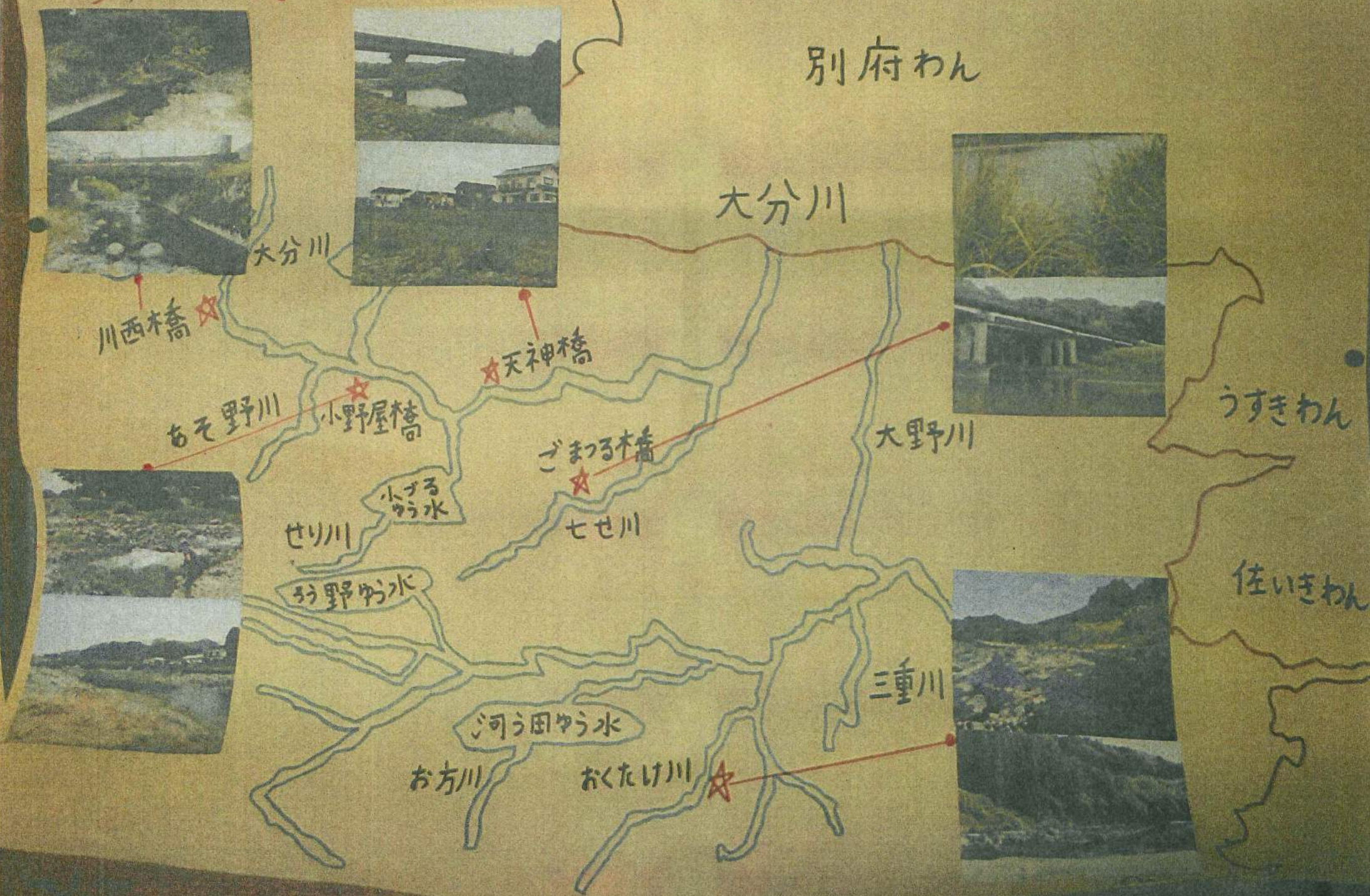
大分川はその源を由布市ゆ布院町の由布だけに発し、由布院ぼん地を流れ、あそ野川、せり川等を合わせて、流下し、はさま町において大分平野に入りかく川、七世川を合わせ、別府わんに注ぐ。流域面積650km²の一系及河川。
国土交通省 平成17年 大分川水けいの流域(および河川のがい要)より


















(県内主要河川の上中流域の水質のばらつき: H15より)

BOD(生物化学的酸素要求量)とは、BODが大きいと、その水は有機物によるよごれが進んでいることを示す。BODは、河川のよごれのばらつきを示す指標として採用されている。

5 研究した川



6. 調査結果

	天気	気温(度)	水温(度)	におい	とう明度	BTB		
川西橋	晴れ	30	23.6	なし	とう明	「中小生 緑」		
生き物	・タカハヤ 2匹 ・カワムツ 3匹		カワニナ 5匹以上	ホタルの幼虫が食する				
小野屋大橋	晴れ	37.6	26.8	生ぐさい	少しにごりあり	中小生-アルカ リ生 緑		
生き物	・カワムツ 4匹							
天神橋	くもり	28.9	26.8	なし	少しにごりあり	酸 ^度 個生-中小生 黄緑		
生き物	・カワムツ 2匹 ・ウグイ 1匹							
七せ川	晴れ	36.2	24.9	なし	とう明	アルカリ ^性 小生 青		
生き物	・カワムツか タカハヤのち魚 2匹							
豊後大野市 おくたけ川	晴れ	31.0	24.6	なし	とう明	アルカリ ^性 小生 青		
生き物	・タカハヤ 1匹 ・カワムツ 10匹以上		ニホンイシガメ 2匹					

番外編

・BTB溶液とは、指示薬の一つ。酸性なら黄色、中性なら緑色、アルカリ性なら青色

になる。すは、酸^性個生、食器洗い用洗剤は中性、虫さされの薬・トイレ洗剤はアルカリ^性小生にな



~ NHK for school より ~

7. 分かったこと

- ・大分市の調査した4つの川のうち、せせ川が一番きれいで豊後大野市のおくたけ川とBTB溶液の色がにっていた。
- ・天神橋は、生活用水が流れていたのて水がよごれていた。
- ・大分川は、タカハヤ、カワムツなどのコイ科在来種が多く生息していた。
- ・天神橋や小野屋大橋では、川を広げる工事をしていて、ショベルカーで大きな岩や土をほいて、川の水がにごっていた。
- ・川西地域の人々が「熊本地しんがおきてから、川の流れが変り、大きな魚がいなくなり、魚が小さくなった。」と言っていた。じしんのえいきょうで川の生き物も変わっていた。



8. 結果

大分川には、メダカの学本交は存在していなかった!!



おさかな館のメダカたち

どうして? 昔は、川にメダカは生息していた。だが今は、川がろ面コンクリートになり、川の流れ

速くなり(そう水防止のため)水草がなくなり、メダカのすめる環境がなくなったから。用水路やため池には生息していることがある。

9. 感想



番じょうおさかな館
学芸員 宮島尚貴さん インタビューより

もっとたくさん川の調査をしたかったけど、雨が糸売っていたので、調査ができなかったのて、本機会があたら他の川も調査したい。そして、ぼくは、この調査をして、メダカは人間が安全に過すためにいなくなったことが分かっておどろきました。でも、おさかな館の宮島さんが子どもができることとして、「川で遊んで今の川のしょうきょうを知ること」「ごみ拾いをする」と言っていたので、ぼくもごみ拾いや注意しながら川で遊びたいと思います。

